

4 リハビリテーションセンター

今年度も高齢患者を中心に急性期～亜急性期のリハビリテーションを実施いたしました。人事面では、内田室長のもと理学療法士4名、作業療法士1名、言語聴覚療法士2名（うち臨時職員1名）、心理職1名の変わらない体制で行いました。

疾患別リハビリテーションの実施件数は21,298件と、毎年増加しています。今年度は、「呼吸器リハビリテーション料Ⅰ」の施設基準が承認されたため、呼吸器リハビリの件数が増加しました。

| | 2014年度 | 2013年度 | 2012年度 |
|------------|---------|---------|---------|
| 運動器リハビリⅠ | 6,316件 | 7,041件 | 5,618件 |
| 脳血管リハビリⅡ | 2,689 | 1,929 | 2,588 |
| 廃用症候群リハビリⅡ | 10,814 | 10,524 | 9,625 |
| 呼吸器リハビリⅠ | 1,479 | 329 | 76 |
| 合計 | 21,298件 | 19,823件 | 17,907件 |
| 早期加算14日 | 10,106件 | 9,696件 | 2,711件 |
| 早期加算30日 | 15,399 | 14,747 | 12,400 |
| 評価/指導 | 1,502 | 1,707 | 1,336 |

(文責 リハビリテーションセンター担当係長 植松 豊子)

<理学療法>

2014年度、理学療法の新規患者数は、1354名（入院1301名、外来53名）でした。総実施件数は、13451件（入院12948件、外来503件）でした。

総実施件数の疾患別リハビリテーションの内訳は、脳血管疾患等リハビリテーション1349件（10.0%）、脳血管疾患（廃用症候群）リハビリテーション4284件（31.8%）、運動器リハビリテーション5675件（42.2%）、呼吸器リハビリテーション1464件（10.9%）、その他679件（5.0%）でした。

(文責 リハビリテーションセンター主任 山口 砂織)

<作業療法>

2014年度作業療法の新規処方数は入院183件、外来22件、合計205件でした。リハビリテーションの実施数は入院1335件(73.8%)、外来474件(26.2%)で合計1809件となりました。

総実施数1809件の疾患別リハビリテーションの内訳は、脳血管疾患リハビリテーション567件(31.3%)、脳血管リハビリテーション(廃用症候群)399件(22.1%)、運動器リハビリテーション641件(35.4%)、呼吸器リハビリテーション33件(1.8%)、その他169件(9.4%)でした。

(文責 リハビリテーションセンター 井上 望美)

< 言語・摂食機能療法 >

今年度の新患数は 558 名（入院 539 名、外来 19 名）で、内訳は摂食嚥下障害 531 名、構音障害 14 名、失語症 6 名、音声障害 2 名、高次脳機能障害 5 名で、嚥下障害のリハビリが大多数を占めました。高齢者の患者も非常に多く 80 代以上が 69%でした。今年度は昨年度に比し新患数がやや減少しましたが、嚥下の検査である VE（嚥下内視鏡検査）は 368 件、VF（嚥下造影検査）は 12 件施行し、昨年度よりも多くの患者に対し検査が施行できました。嚥下障害は本来評価だけで終わるものではなく、その後の訓練に役立てる必要がありますが、今後は病棟看護師との連携を更に進め、早期から嚥下障害に介入できる体制作りが望まれます。

また、1 月からは耳鼻科で喉頭音声外来が開始となり、毎週月曜午後のみ専属の言語聴覚士として山本明日香が臨時職員で勤務することになりました。1 月から 3 月まで外来の新患 5 名の訓練を行いました。

外来での言語グループ訓練は引き続き月に 1～2 回行い、そのうち年 6 回は園芸療法の毛利ユカ先生にご指導いただきました。

（文責 リハビリテーションセンター 主任 谷内田 綾）

< 心理検査・心理面接 >

各診療科から心理への外来入院別の実施件数は、図 1 から内科 217 件（外来 23 件、入院 194 件）、肝臓内科 48 件（外来 8 件、入院 40 件）、腎臓内科 126 件（外来 5 件、入院 121 件）、糖尿内科 49 件（外来 9 件、入院 40 件）、循環器内科 85 件（外来 5 件、入院 80 件）、呼吸器内科 130 件（外来 6 件、入院 124 件）、神経内科 8 件（外来 8 件）、精神科 375 件（外来 371 件、入院 4 件）、リウマチ科 28 件（外来 7 件、入院 21 件）、血液内科 15 件（外来 3 件、入院 12 件）、総合医療 61 件（入院 61 件）、ケア科 235 件（外来 6 件、入院 229 件）、外科 139 件（外来 2 件、入院 137 件）、呼吸器外科（外来 2 件）、整形外科 98 件（入院 98 件）、泌尿器科 41 件（外来 1 件、入院 40 件）、耳鼻咽喉科 9 件（外来 3 件、入院 6 件）、脳神経外科 27 件（外来 2 件、入院 25 件）、婦人科 5 件（入院 5 件）、乳腺外科 2 件（入院 2 件）、皮膚科（外来 1 件）で精神科からの依頼が多く、ケア科以外の各科入院件数の内容は精神科リエゾンチームで対応したもので、精神科リエゾンチームの件数は、図 3 の実施内容とおり 1047 件で 61%をしめています。

年代性別では、図 2 から 70 歳代から 80 歳代が多く、性別は合計すると男性 823 件、女性 878 件で女性が多いです。

実施内容は、図 3 から心理検査 225 件（13%）、心理療法 422 件（24%）、家族療法 3 件（0%）、糖尿病集団療法 18 件（1%）、認知行動療法 9 件（1%）件、精神科リエゾンチームについては既述のとおりです。

心理検査は、図 4 から認知症の神経心理学的検査がほとんどです。

（文責 リハビリテーションセンター 主任 石丸 治男）

図1 診療科別実施状況

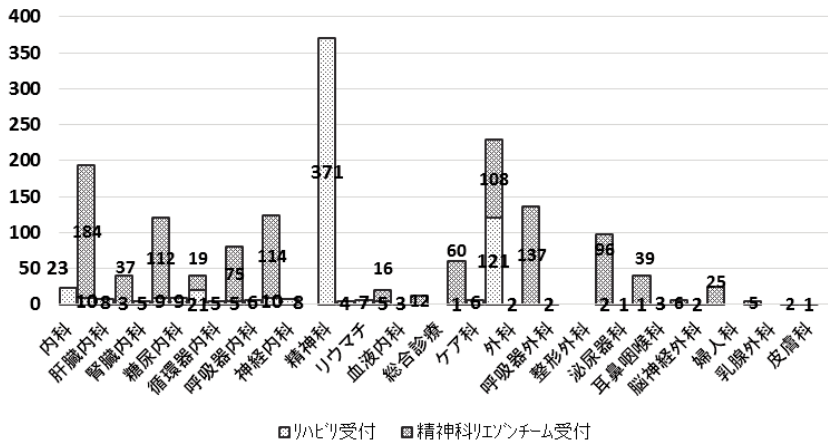


図2 年代性別利用状況

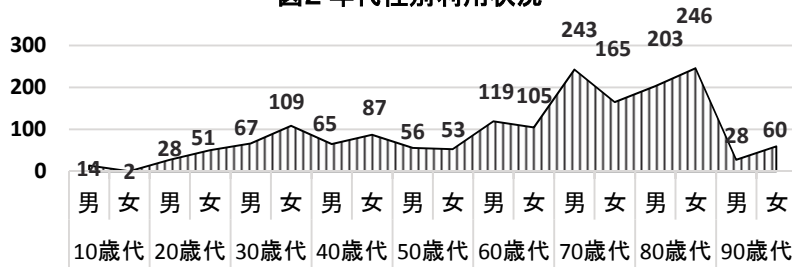


図3 実施内容

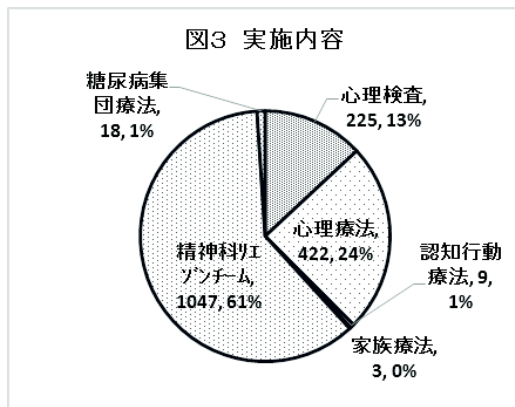


図4 実施心理検査

